

2023 年度 神戸市政策会議 概要

開催日時	2023 年 12 月 28 日（木）13 時 30 分～14 時 00 分
出席者	市長、副市長、市長室長、企画調整局長、企画調整局副局長、企画調整局政策課長、行財政局長、行財政局財務課長、教育委員会事務局局長兼教育次長、教育次長、教育委員会事務局総務部総務課長、教育委員会事務局学校支援部長、教育委員会事務局学校支援部学校経営支援課課長（情報監理担当）、教育委員会事務局学校教育部部長（児童生徒担当）、教育委員会事務局学校教育部児童生徒課長
議題	不登校支援の充実・教育情報インフラの再構築
提案概要	<p>○不登校支援の充実に取り組み等について、前回政策会議（2023 年 8 月 30 日実施）に引き続き、2024 年度予算編成に向け議論した。</p> <p><不登校支援の充実></p> <ul style="list-style-type: none">・本市の不登校児童生徒の状況について、全国的な増加傾向と同様に年々増加し続けており、2022 年度は小学校で 1,502 名、中学校で 2,602 名の計 4,104 名となっている。・不登校児童生徒の状況は一人ひとり異なっており、個々の不登校の状況に応じて多様な教育機会を提供する必要がある。・不登校児童生徒への支援の充実のため、「学びの多様化学校（不登校特例校）」の設置について、自校への登校が難しい生徒を対象とし、2025 年 4 月の開校に向けた準備を 2024 年度に行う。・その他、校内サポートルームの整備、教育支援センター（くすのき教室）の拡充、ICT を活用したつながり・学習の支援を行う。 <p><教育情報インフラの再構築></p> <ul style="list-style-type: none">・市立学校園の教職員が使用する端末・ネットワークについて、現行契約が 2025 年 12 月に満了となるため、2024 年度から教育情報インフラの再構築に着手する。・再構築とあわせて「保護者電子申請システム」を新たに導入し、保護者の利便性向上と教職員の業務負担軽減を図る。

<p>会議結果 (主な意見 等を含む)</p>	<p>全体の方向性については了。</p> <p>○今後の検討にあたっては、以下の点に留意すること。</p> <p><不登校支援の充実></p> <ul style="list-style-type: none">・校内サポートルームの支援員の配置については、兵庫県の支援内容（中学校：全校に1人配置、小学校：4校に1人配置）を踏まえ、検討を進めること。 <p><教育情報インフラの再構築></p> <ul style="list-style-type: none">・システムの仕様や調達手法等の精査を行った上で、費用削減に努めること。
---------------------------------	--